

にのみや学園（小中一貫校）実現に向けたCS統合の進め方について

23.9.29

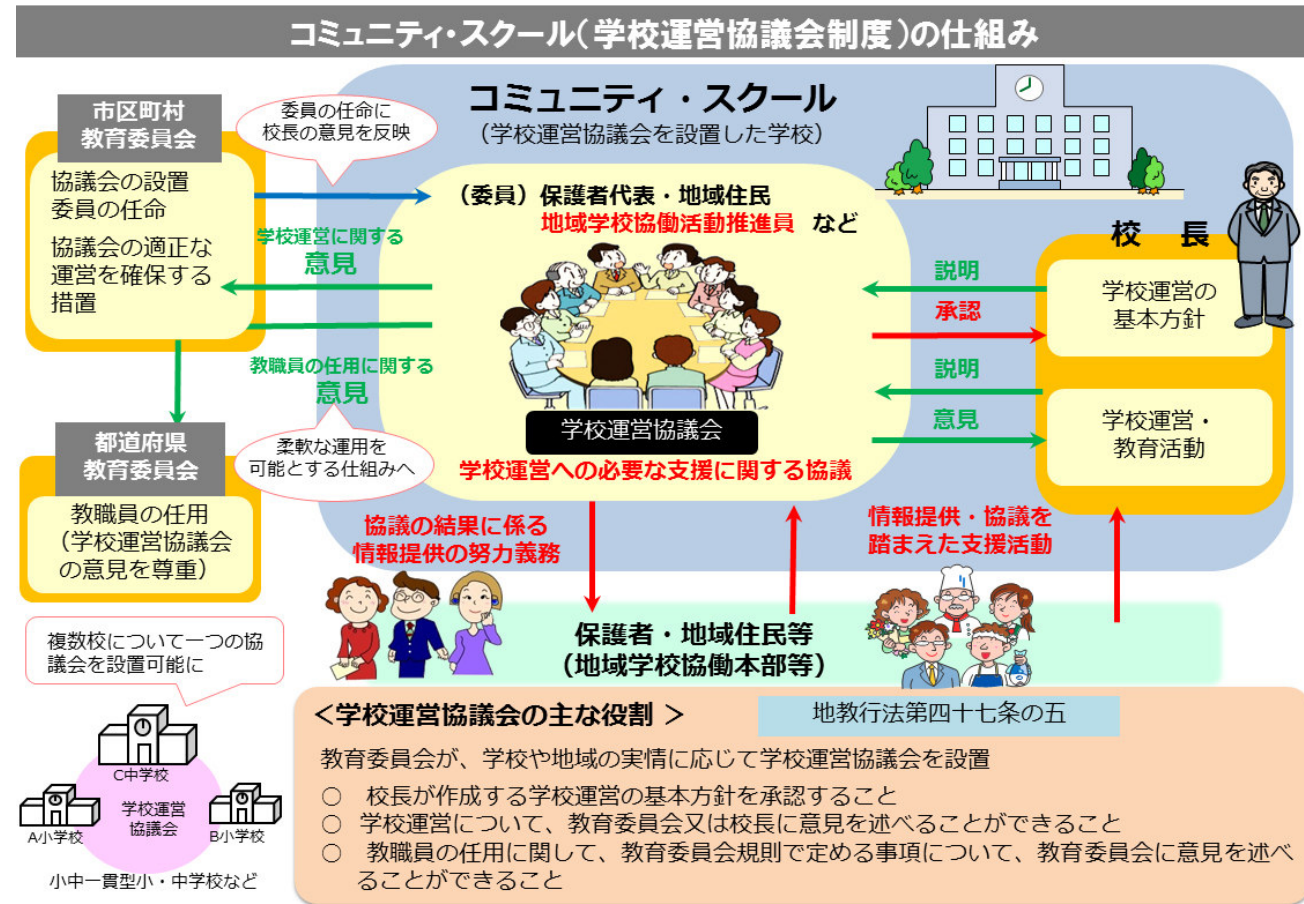
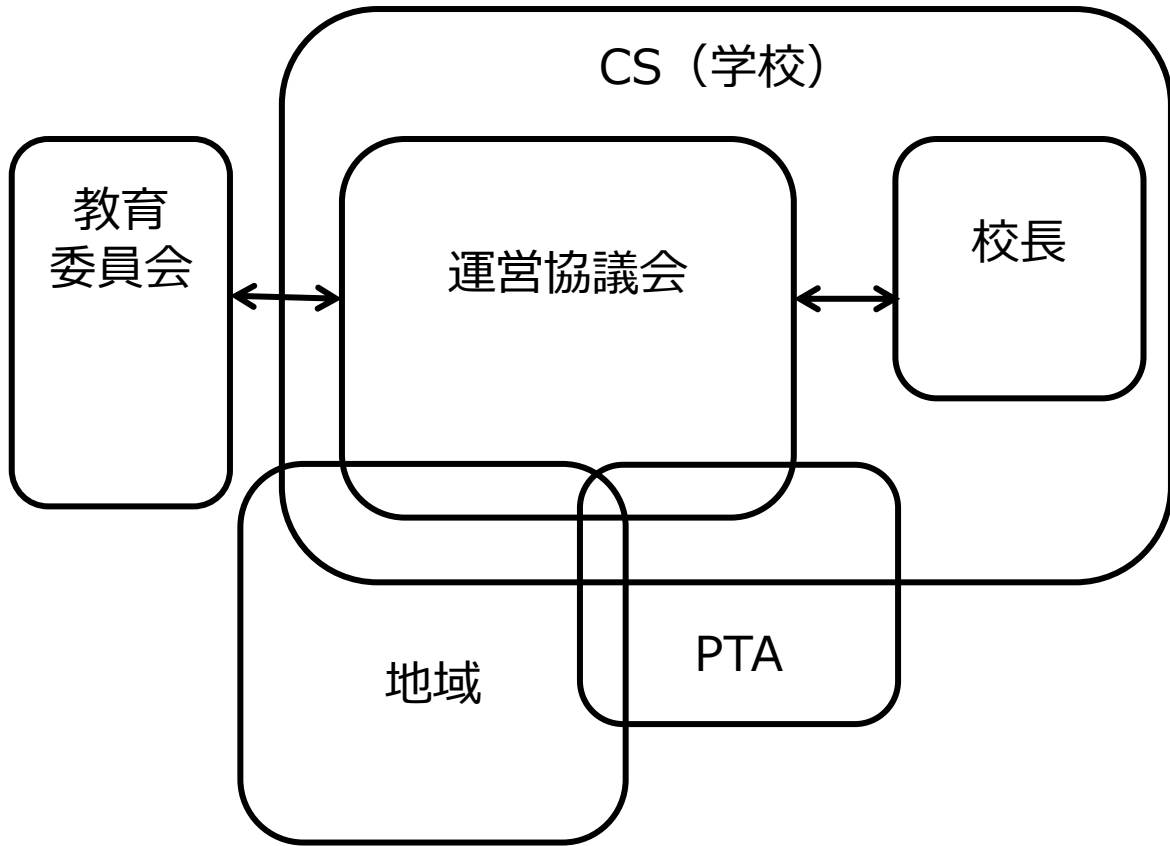
教育委員 岡野・藤原

- 一体型小中一貫校「にのみや学園」の実現に向け、学校統合および運営協議会並びにPTAの統合について検討を実施
- 子どもの人数の減少速度は緩やかであり、二宮小学校、二宮中学校でも統合までに5年前後は必要と推計
- 学校の一体化が5年前後先であるため、運営協議会の一体化を急ぎ過ぎても運営が難しくなる懸念がある
- よって、三鷹市の例のように「コミュニティスクール委員会」を設置し、2校の運営協議会の乗り入れを実践的に行うことから開始
- 運営協議会一体化にメリットがあると感じた場合には、速やかに運営協議会を統合。その場合、運営協議会が2校の学校運営の基本方針を承認することになる。
- コミュニティスクール委員会は統合への重要な役割を担うため、各運営協議会メンバーに加え教育委員を任命してはどうか？

組織	学校	現状	統合案①	統合案②	統合案③	最終系
学校	二宮小学校	○（存在）	○	○	二小中で 一本化 （校舎が一 緒）	にのみや学園 で一本化 （統合）
	二宮中学校	○（存在）	○	○		
運営協議会	二宮小学校	○（存在）	○	二小中で 一本化 （統合）	二小中で 一本化 （統合）	にのみや学園 で一本化 （統合）
	二宮中学校	○（存在）	○			
PTA	二宮小学校	○（存在）	○	○	○	にのみや学園 で一本化 （統合）
	二宮中学校	○（存在）	○	○	○	

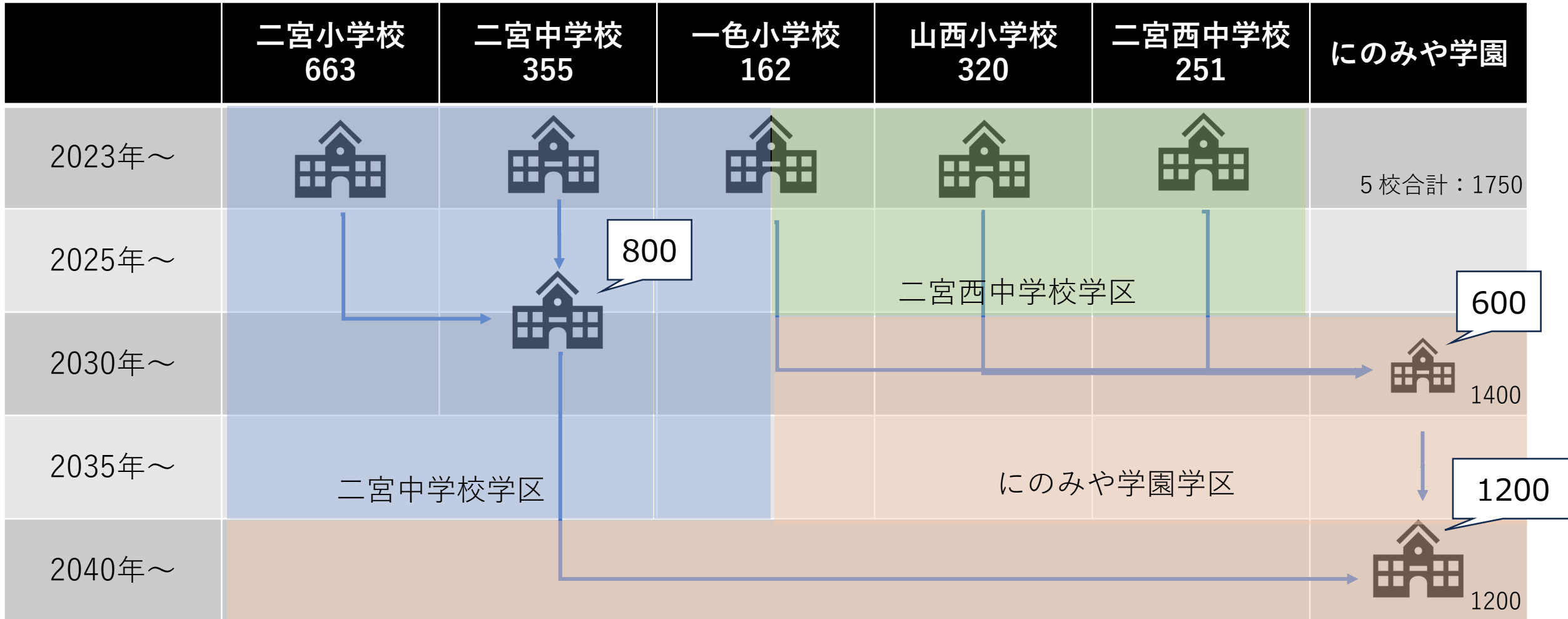
コミュニティ
スクール
委員会

参考) コミュニティスクールと運営協議会・PTA・地域の関係性



参考) 小中一貫の校舎統合ロードマップ(案)

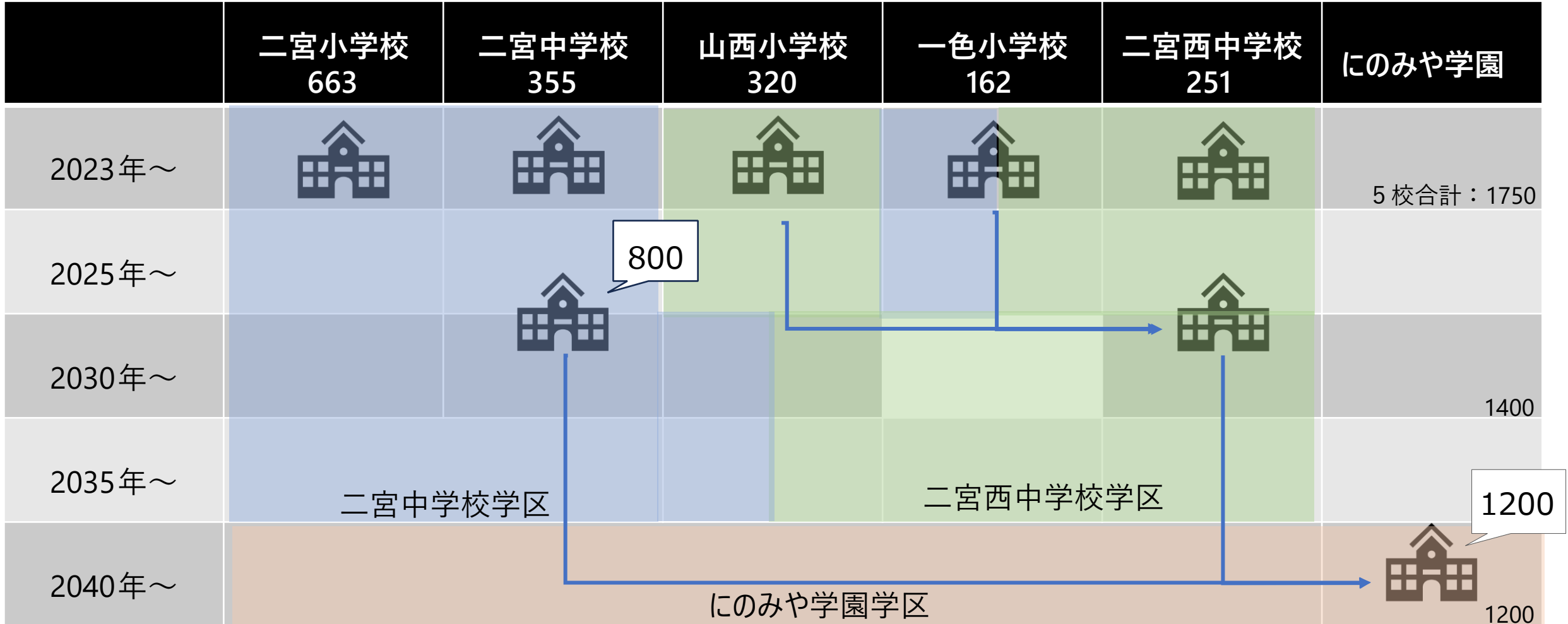
生徒数23.5.1現在



考察：現在在住の方への周知に少なくとも7年は必要（兄弟姉妹がいる方への配慮と、入学一年前には認識してもらう必要があると考えるため）であり、2030年度末までは現学区の運用とし、そのあと二宮西中学校、山西小学校、一色小学校を統合するのが最も学区問題が早期に解決する方策である。

参考) 小中一貫の校舎統合ロードマップ (案)

生徒数23.5.1現在



考察：山西小学校が出来る前の学区に戻すような考え方。小学校生徒の通学距離を考えた場合には最善の案ではないか